



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

参院選がある。

しかし、国民はシラケムード。

結局、民主党が政権を取ったところで何も変わらなかった。

それどころか経済はさらに冷え切り、景気はますます落ち込んでいる。

当の民主党はと言えば、言い訳ばかり。やはりできませんでした、だとき。

選挙の時だけ都合の良いことばかり並べ、自民党の揚げ足取りをして勝ち取った政権も足元からグラついている。

参院選はタレント議員が強いから、という理由なのだろうが、戦力ゼロかマイナスばかりの顔ぶれ。それでも一般の民衆にとっては、議員に立候補できる人は偉い、と思っているのだろう。とにかく人気取りだけで、日本国を背負うのだけは止めてもらいたい。人気落ちてきたからと言って、政治家になろうとしない欲しい。

民主党も自民党も、その他の党も忘れてもらっては困る。何の為の政治かと言う事を。

民衆から先生、と言われて有頂天になるためだけなのか？

そうではないだろう。

平和ボケした日本だからこそ、リーダーになろうとする者達は覚悟が必要である。

言った事を成せなかったら、腹の一つぐらいかっ切る覚悟を持ってもらいたい。片手間で政治家になろうと安易な気持ちではしないでもらいたい。

命懸け。

死に物狂い。

それができないなら家で屁でもこいて寝てなさい。誰もあんたらにしてもらおうとは思っていないのだ。

しかし、ここで大切なのは、我々民衆も無責任では駄目なのだ。

我々自らが、民でできる限り日本国に貢献していく気概、気持ちが必要なのである。

それができないなら文句は言いなさんな。

破滅へのカウントダウンに向かっている事も気が付かず、いざ危機を目前にしてからあわてふためいても遅いのだ。

はっきり言って、現時点で日本は弱くなり過ぎた。武力の戦争ができない現在、やはり日本は外貨を奪える国にならなければ話にならない。

大人より子供が大事。そんな事は分かっている。

でも、その前に日本が食べられる国になっていないと何の意味もないのでは？

強い日本。

それは武力の戦争で他国の人間を殺すのではなく、経済、ビジネスで他国の人間を喜ばし、活かしていく戦いをしていかなければならないのだ。

選挙の度、机上の空論的な政策ばかり並べているが、時間の無駄。

私の党が、うちの党が。自分のところが一番です。もうそんな事を言ってる場合ではない。

政党も、政治家も、国民も全て大同団結して、考え、方向性も揃えて外貨を奪う活きた戦いをしなければならぬ時がきたはずだ。

日の丸の国旗が示すように一丸となり、他国に喜ばれ、受け入れられる国になろうではないか。

人一人では、もちろんできないが、思ったり、考えたりするだけでも違うはずだ。

議員候補の皆さん。一億人の人を幸せにする前に身の回りの一人からではないだろうか。

選挙に出る前にできる事からやっていきませんか？

民でできる事は民で。

もちろん我々もそう。特に大人達は人生に覚悟を持たなければ、人生に舐められるぞ。

人生気楽に。どうせ人生一度しかないなら気楽に生きていこう。その時代は終わった。

結局そのツケが今来たのだ。人生一度しかないなら、できるだけ生き続けよう！

その為には、嘘の人生はするな。

身の回りの幸せを作る事から始め、世界中にも喜ばれる物作り、サービスができる日本にしていこうではないか！

そんなリーダーが出てくる事を期待している。